

(寄稿)

2012 年度診療報酬改定を見据えた 今回改定の影響と対策

< 要約 >

2010 年度診療報酬改定について、3 月 3 日発行の「2010 年度診療報酬改定でこうなる！」で改定の概要と影響を予想しており、本稿では以下の 4 点を中心に、診療報酬の解説ではなく、経営という視点から診療報酬を捉え対策を講じることに主眼を置いて論じることとする。

① 2010 年度診療報酬改定が医療提供体制に及ぼす影響

機能分化と連携の推進、平均在院日数の短縮と病床利用率の低下、二極化時代の到来というポイントにおいて、今回改定が医療提供体制に及ぼす影響について、概要を説明する。

② シミュレーションに基づいた改定の影響予想と対策

急性期病院、回復期病院、療養型病院、診療所の 4 つのタイプの医療機関の機能別に診療報酬改定に対するある程度の幅をもった形での影響及び対策について言及している。

③ DPC 制度の変更点

DPC 制度の主な変更点、機能評価係数 II で上位を占める具体的な病院群についても言及する。

④ 次回改定に向けてのシナリオ

今回改定を踏まえた業績予想、3 つのシナリオ、次回改定までにやるべきことについて言及する。

2010 年 4 月 30 日

Healthcare note

(No. 10-08)

寄稿者名
有限責任監査法人
トーマツ
井上 貴裕

編集主幹
野村ヘルスケア・サポート
& アドバイザリー(株)
市川 剛志

野村証券株式会社
法人企画部